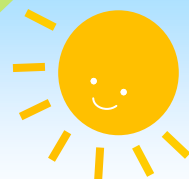


なつやすみ直前特集！

Library Newsletter シリーズ

論文・レポート学習帳



もうすぐなつやすみ！

楽しい予定を立てている方も多いのでは？

でもその前に、乗り越えなければならない試験。

1回生の方は初めてのレポートにお困りではないですか？

2・3回生の方、「なんとなく」で課題提出していませんか？

また4回生の方は卒論を考え始める頃かと思います。

皆さんが有意義になつやすみを過ごすためのお手伝い。

人環・総人図書館にさせていただきます！



「なつやすみのとも」
～論文・レポート学習帳～
裏面へGO！



裏面

なつやすみのとも

京都大学 人間・環境学研究科総合人間学部図書館

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075 (753) 6524, 6525

Fax : 075 (753) 6896

Email : eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

HP : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/>

Twitter : @jinkansoujinlib

夏季特別貸出7月22日スタート！

夏季特別貸出が始まります。なつやすみはゆっくりと本を読むチャンス。いつもより長く借りられるこの機会をご利用ください！

■実施期間

学部生：7月22日(月)～9月24日(火)

院生/教職員：7月22日(月)～9月7日(土)

*8月11(日)～20日(火)は夏季休館です。

■返却期限日 2013年10月9日(水)

*夏季特別貸出の図書は更新できません

■冊数(平常通り)

学部生：開架 5冊 書庫 10冊

院生：開架10冊 書庫 30冊

教職員：開架10冊 書庫 対象外



ゴーヤ、大きくなりました



当館南側で育てているゴーヤが大きくなってきました。6月末には花が咲きはじめ、まだ小さいですが実もついてきました。立派な緑のカーテンになりますように！ゴーヤの成長にどうぞご注目下さい！





Follow me ! “@jinkansoujinlib”



環on映画会のご案内

環on映画会『MAINE OCEAN』（メヌ・オセアン）
（ジャック・ロジェ監督 1985年）

日時：7月3日（水）18：15～（受付18：00）

会場：京都大学人環・総人図書館 環on

案内人：塩塚秀一郎先生（京都大学、フランス文学）

バベルの混乱がサンバのリズムに溶け合う

ブラジル人ダンサー、弁護士、漁師、列車の検礼係……

何の共通点もない人びとが成り行きのままに出会って、

騒いで、別れる。

かけがえのない瞬間を捉えた、素晴らしく

素っ頓狂なバカンス映画。



詳細はこちら



掲示板、ご活用ください

当館1階エントランスに、学生のみなさんにもご利用いただける掲示板を設置しています。
イベントや勉強会の広報に、ぜひご活用ください！



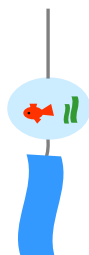
■ 掲示できるもの

- ・京都大学のクラブ・サークルの掲示物
- ・全学公認団体主催の掲示物
- ・その他、本学在籍者が主催する行事等の掲示物（主催者名、所属身分、連絡先などが明記されているもの）

■ 注意

- ・掲示板以外への掲示は行いません。
- ・職員が掲示物を受付した後に掲示しますのでまずはカウンターへお持ちください。
- ・無断で掲示されたもの（当館の受付印がないもの）は、通告なしに撤去いたします。
- ・同一内容の掲示物は1枚のみ掲示します。
- ・掲示期間は2週間です。
- ・館内に無断で掲示されたものは、通告なく撤去いたします。

開館日程表



7月

3日(水)

環on映画会『メーヌ・オセアン』

受付:18:00 上映:18:15-20:30

案内人:塩塚秀一郎先生

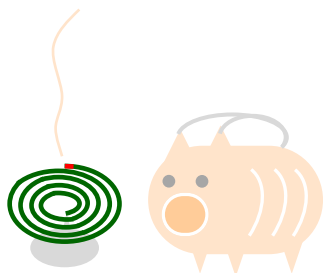
29日(月)

試験期のため29日(定例休館日)も
開館します。

8月

Book Bingo

~7/31 開催中!



環on
Library わおん

「環on(わおん)」(人環棟1F)

開室:平日9:00-17:00

本館の定例休館日も開室

休室:土日祝日ほか

(本館の休館日と同じ)

9:00-20:00

10:00-15:00

休館(日・祝日、28日定例休館日)

7

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8

8月11日-20日:夏季休館

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

なつやすみのとも

～論文・レポート学習帳～

なつやすみ直前！Library Newsletter特集テーマは「論文・レポート」

今回は人環院生さんの論文執筆体験談を掲載してみました。これから論文を執筆される方は参考にしてみてください。

また人環・総人図書館では7月より卒論・修論応援キャンペーンを開催します。論文やレポート執筆の際にご活用ください。

人間・環境学研究科博士後期課程のSさんに2013年3月に行ったインタビューをまとめました。インタビュー当時、彼は博士後期課程3回生。関東の大学を卒業後、人環へ進学されました。研究テーマは「公共性論、あるいは、公共空間について」。均質化する社会の中で、都市の在り方、空間の質から公共性の問題を考えようとしたのがきっかけだそうです。

論文については、「学部時代も、修士の時も、自分の満足できる論文は書けなかった」とのこと。「書き始めた当初は、どのように論文を書いていけば良いのか分からず、ずいぶん苦勞しました。「勉強」しさえすれば論文は書けるものだと思っていたけれど、実際は、本を何十冊も読んだのに、それだけではダメだった」と語るSさんに、論文のあれこれを語っていただきました。

—論文というと、まず何が大事なのでしょう？

—「問い」ですね。これが全てを決めると言ってもいいと思います。「問い」が決まれば、論文は半分以上完成したも同然なんです。だから、正しく問いを設定することが大切なんです。何でも問いになるかというと、そういう訳ではない。例えば「〇〇さんはなぜ甘いものが好きなのか？」という問いでは研究にならないですね。それは個人の趣味の問題。こういった勝手な思いつきの問いでは研究になりません。適切な「問い」を立てるためには、学問的な文脈をきちんと押さえたり、なぜそのような論文を書く必要があるのかというような学問的な要請や必然性に答えたりするように、「問い」を設定しなければなりません。また、時代の変化とともに「問い」の角度も変わってきます。現代を生きる私たちに課せられた「問い」に答えるべく論文を書くということも忘れないでほしいです。

—なるほど。「問い」を立てるって難しそうですね。他に気を付けないといけない事などはありますか？

—そうですね。逆説的に聞かれますが、「よく分からないからこそ書き始める」ということでしょうか。「**全部分かっていないと論文は書けない**」と思わない方がいいですね。分かって(知って)いるということと、書けるということは全く別物なので…。完全に調べ上げてから書こうとすると、收拾がつかなくなってしまう。ある程度読んだら見切りをつけて書き始めた方がいいと思います。書き進めるうちに行間が埋まらないところが出てくるので、足りない部分を埋めるためにまた読んでいく。**書く→読む→書く→読む、の繰り返しで進めていくと良いと思います。**

—書きながら考えを深めていくという感じですか？

—はい。論文を書き進めていくと、上手く論じられない個所がどうしても出てきます。行間に論理的な飛躍や矛盾(上手く説明ができていないところ)のような「隙間」が生まれてしまうということですが、そこをできるだけ丁寧に埋めるようにしていきます。「隙間」を埋める作業はとても重要で、たとえば、デジタル写真の画質を良くするようなものだと思います。画質が細かければ

鮮明になりますが、逆に、画質を落とすと荒くなってぼやけてしまいますよね？そういう意味では、説得力のある論文とは高画質の写真にたとえられるかもしれませんね。「**いかに隙間を埋めていくか**」。ここを頑張れば、しっかりとした論文が書けますよ。また、どう「隙間」を埋めるかというところにその人のオリジナリティが出るとも言えるかもしれません。

—なるほど。他に何か気を付けることはありますか？

—研究分野にもよりますが、あまり引用を多用しすぎないことです。論文を書いているとついつい引用に頼りがちになります。文字数も稼げて楽です(笑)。実際、人の言葉を切り貼した論文はよくありますが、それでは書き手の主張が十分に伝わらないし、無味乾燥な論文になってしまいます。そもそも、その文献がきちんと消化できていて、自分のものになっていれば、引用はそれほど必要ないはず。引用することによってできるだけ「禁欲的」になって、その考えの本質を自分の言葉で言い換えてみる。書き手のフィルターを通して濾過された言葉は、やはりオリジナリティがあって、どこか読み手を引きつけるところがあると思います。

—ずばり、研究とは何でしょう？

—これは僕も指導教員の先生から口を酸っぱくして言われていることですが、「**きりで穴を開けるように、ある一点をとことん突き詰めて掘り下げていくこと**」じゃないですか？

—深いですね……。それでは、最後に一言。

—分からないからこそ書く。頭の中のもやもやを晴らすために書く。論文とはそういうものなんだと思います。

—ありがとうございました。



卒論・修論執筆応援キャンペーン2013

文献集め、手伝います。

期間：2013年7月1日(月)から8月9日(金)

場所：人環・総人図書館1F 調査・相談カウンター周辺

論文探して
迷わない！

展示 卒論・修論の書きかた本

論文の書きかたに関する本を調査・相談カウンター前で展示します。コーナーにある本は貸出もできます。

参考 先輩の論文を見てみよう

先輩たちがどんな論文を書いているのか見てみませんか？カウンター備付のリストで、同じ分野の人を探すこともできます。体験談をまとめたペーパーもありますよ。

相談 先行研究の探しかた・集めかた

平日9:00から17:00

図書館の調査・相談カウンターはあなたの味方です。文献の探しかた・集めかた、時間内ならいつでもカウンターにてご対応します。お気軽にご相談ください。

講座 15分でわかるCiNii(サイニイ)講座

7月16日(火)・17日(水) ①12:35から12:50 ②16:30から16:45

※各日2回開催

先行研究を集めるって言っても、どうすればいいの？とお困りの方。日本語論文を探すならデータベースCiNiiがおすすめです。押さえておきたい使い方のポイントを15分でご紹介します。

<予約優先>件名を「CiNii講座」とし、氏名・所属・回生・学籍番号と希望する回を記載したメールを eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp へお送りください。

締切前に
泣かない！

講座 卒論・修論のための60分文献管理講座

8月2日(金) 15:30から16:30 特設会場：環on

論文では先行研究を引用して、最後に参考文献リストを載せる必要があります。なかなか面倒なこの作業、一瞬でできちゃうツールがありますよ！ウェブで使える文献管理ツールRefWorksの使いかたを、実習付きでご紹介します。

<予約優先>件名を「文献管理講座」とし、氏名・所属・回生・学籍番号を記載したメールを eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp へお送りください。

文献は空から降ってきません。
一緒に探しましょう。
お手伝いします。

京都大学 人環・総人図書館

<TEL>075-753-6525,6524

<MAIL>eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

<URL><http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib>

<Twitter>[@jinkansoujinlib](https://twitter.com/jinkansoujinlib)



2013.7

